

メディア・アンビシャス 戦後 80 年講演会

「あの戦争」と「いま」をつなぐ

日時： 7 月 **26** 日（土）18 時～（17 時 30 分開場）

会場： **愛生館サロン**（札幌市中央区南 1 西 5、秋山愛生館

ビル 6 階。地下鉄「大通駅」1 番出口徒歩 2 分）

参加費： **500 円** ※学生無料



講師 **三浦 英之氏**

＝朝日新聞盛岡総局

みうら ひでゆき 新聞記者・ルポライター。1974 年、神奈川県生まれ。『五色の虹 満州建国大学卒業生たちの戦後』で第 13 回開高健ノンフィクション賞、『日報隠蔽 南スーダンで自衛隊は何を見たのか』（共著）で第 18 回石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞、『牙 アフリカゾウの「密猟組織」を追って』で第 25 回小学館ノンフィクション大賞、『南三陸日記』で第 25 回平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞、『帰れない村 福島県浪江町「DASH 村」の 10 年』で 2021 年 LINE ジャーナリズム賞、『太陽の子 日本がアフリカに置き去りにした秘密』で第 10 回山本美香記念国際ジャーナリスト賞、第 22 回新潮ドキュメント賞を受賞。

『1945 最後の秘密』

（集英社 6 月刊、2200 円）

人は戦時下で何を考え、どう生きようとしたのか。著者は「あの戦争」と「いま」をつなぐ 7 つの物語を「1945 最後の秘密」として刊行した。そこには真珠湾攻撃隊やアフリカを攻撃した「特殊潜航艇」の日本兵、「空母赤城」の整備兵、元満州国官僚が死の直前に綴った最後の「極秘計画」などが登場する。戦争体験者や遺族らの生々しい証言には、戦争の非人間性と平和の価値を次の世代に伝えほしいという願いが込められていた。しかし、日本には歴史の教訓を学ばず、戦争の実相を直視せず、平和憲法を改悪し、軍備拡張に突き進もうとする人たちがいる。平和は、戦争と戦争の間の時代であってはならない。そのことをみなさんとともに考えたい。

後援：北大大学院メディア・コミュニケーション研究院東アジアメディア研究センター

問い合わせ：090-8908-6045（先川）